

令和2年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日	令和2年7月10日（金）
時間	午前9：00から11：30まで
内容	梶野橋から開始し、茜屋橋で終了した。 整備実施区間・・・「サクラの生育状況」・「伐採樹木の管理状況」・「被圧樹木の有無」「上水遺構の保存状況」 未整備区間・・・「現状把握」・「サクラの植樹位置」
参加者	委員会（亀山委員、椎名委員、伊東委員） 小金井市（生涯学習課、道路管理課、環境政策課） 東京都教育庁（地域教育支援部管理課） 東京都水道局（経理部管理課、境浄水場）
オブザーバー	小平市（スポーツ文化課） 市民団体
委員会 所見	<p>【関野橋～梶野橋間】（平成26～28年度整備済み）</p> <p>サクラの生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に良好に生長している。 ・生育の阻害となるので支柱等は撤去して構わない。 ・若木のヒコバエ処理は適宜行うこと。 ・KS30の上部の枝が枯れている。⇒要剪定。 <p>伐採樹木の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右岸は昨年度に雑木管理を進めたことで、史跡の遺構の環境が改善されている ・上水法面はまだ手が入っていない。⇒除去措置が必要である。 ・左岸は再度雑木の繁茂で状況は芳しくない。2～3年経過すれば、萌芽更新で大きく成長してしまう。⇒右岸同様に早急に措置を要する。 ・オニグルミやタラノキが林立している。⇒要伐採。 ・上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。 <p>被圧樹木の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左岸の雑木はすでにサクラの若木の高さを超えていて被圧している。 ・右岸のサクラの一部は被圧されていて、樹形に乱れがみられる。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。 ・梶野橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒適切な処理必要 ・関野橋下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒適切な処理必要

【新小金井橋～関野橋間】（平成22～24年度整備済み）

サクラの生育状況

- ・サクラによる緑陰が順調に形成されてきている。
- ・比較的良好な生育を見せているが、個体によってばらつきがある。
- ・生育の阻害となるので支柱等は撤去して構わない。
- ・枯死伐採のS5は植え替え措置
- ・若木のサクラのヒコバエ処理は適宜行うこと。

伐採樹木の管理状況

- ・ツル性植物がサクラに絡む。⇒早急に除去
- ・タラノキ、ネザサ類多い。⇒要処理
- ・高木が依然残る。⇒危険木として伐採
- ・歩道の樹木伐採は適切に行われている。
- ・五日市街道側（緑地部）の外来植物や雑木⇒要伐採

被圧樹木の有無

- ・植樹したサクラの一部は被圧されていて、樹形に乱れがみられる。
- ・サクラ周辺の樹木は優先して伐採・剪定
- ・上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。

その他

- ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。
- ・雑木がなくなり、外来植物もみられるので、在来と外来の植物への草刈り方法の検討を要する。
- ・関野橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・平右衛門橋から上・下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・新小金井橋下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・新小金井橋～平右衛門橋の既存木の欠損が進んでいる。⇒補植措置を検討。

【小金井橋～新小金井橋間】（平成29～令和元年度整備済み）

サクラの生育状況

- ・比較的良好な生育を見せているが、個体によってばらつきがある。
- ・植樹後のため生長が弱い。⇒入念な水やりが必要。
- ・KN58・KS6・KS44は枯死。⇒植え替えの措置

伐採樹木の管理状況

- ・小金井橋～陣屋橋は、伐採が進み名勝の景観として非常に良い状態である。
- ・景観維持のため、草刈り作業等で雑木の萌芽更新を抑える。

- ・陣屋橋～新小金井橋は、なぜ高木が多く残されているのか。史跡・名勝の保護上、早急な伐採が必要。
- ・新小金井橋付近のニセアカシアの防除は、歩道側は問題ない。枯死確認済み。
- ・新小金井橋付近の水道用地内のニセアカシアは、広範囲に根が広がっていたのか、防除の効果が限定的である。左岸・右岸ともに防除を徹底する。

被圧樹木の有無

- ・若木に対する被圧は確認できないが、既存木に対する被圧樹木が多数ある。

その他

- ・親水性が向上した。
- ・水面が見えることで、小鳥が水飲みに上水内に降りやすい環境。
- ・雑木除去後、在来の野草が比較的良好に育つ。
- ・新小金井橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。要管理。
- ・小金井橋～陣屋橋の既存木の欠損が進んでいる。補植措置を検討。

【茜屋橋～小金井橋間】（未整備）

文化財の現況確認

- ・放置された雑木が多い。
- ・上水法面から生えている雑木が目立つ。
- ・史跡（上水遺構）の崩壊がみられる。
 - ⇒名勝（サクラ並木）としての景観が大きく損なわれている。
 - ⇒被圧によって既存のサクラの生育は危機的な状況にある。
 - ⇒上水のり面の抉られ方が大きく、本来の遺構形状が想定しづらい。

今後の方向性「史跡・名勝の保護を最優先に考える」

- ・史跡保護上、法面上の雑木伐採は優先度高い。
- ・新たなヤマザクラ並木の形成。⇒苗木の植樹
- ・苗木の植樹の位置は、柵の内側が望ましい。
- ・苗木植樹地点から東西南北へ5 m内の高木類は事前に伐採する。
- ・苗木の植樹は、両岸の同時整備がより効果的である。
- ・生育環境では既存木の生長は望めない状態である。樹形回復を促すために、新たに日照が充分当たる条件を整備する。⇒雑木の伐採
- ・苗木や既存木の生長の妨げになるため、対岸の雑木も伐採する。日照の関係から、左岸のサクラを保護するためには、右岸の先行整備を検討すること。
- ・交通障害や民地被害を防ぐため、別途、高木伐採を進める。
- ・歩道のケヤキも伐採が必要である。